びとうファイナンシャルサービス
月刊ニュースレター
Vol.211
2026年11月1日発行
お客様の人生に豊かさを、
こころに安心とゆとりを。
発行者：びとうファイナンシャルサービス株式会社

ATTENTION

株を持っているときのながめ方−人はこういう風には感じない

株価上昇・下落の面白い効果

10%上昇	
100万円	+10万円
110万円	+11万円
120万円	+12万円
130万円	+13万円
140万円	+14万円
150万円	+15万円
160万円	+16万円
170万円	+17万円
180万円	+18万円
190万円	+19万円
200万円	+20万円

10%下落	
100万円	−10万円
90万円	−9万円
80万円	−8万円
70万円	−7万円
60万円	−6万円
50万円	−5万円
40万円	−4万円
30万円	−3万円
20万円	−2万円
10万円	−1万円
0万円	0万円

もう一つついい話

10%上昇	
100万円	+10万円
200万円	+20万円
300万円	+30万円
400万円	+40万円
500万円	+50万円
600万円	+60万円
700万円	+70万円
800万円	+80万円
900万円	+90万円
1000万円	+100万円

この表は、誰でもわかる単純な表ですが、ここに、株式投資や資産運用をするうえで、大変大事なことが隠されています。実は、人間はこの表の通りには感じないのですが、感じることで大いにメリットがあることを示しましょう。上がった株と下がった株を持っている場合の効果をみるのです。たとえば、100万円で買った株が下がったとします。100万円から10%下がれば-10万円。90万円から10%下がると-9万円、・・・50万円から10%下がると-5万円。同じ率で下がれば下がるほど、損の額が少なくなっていきます。そして0円になったら損は-100万円。これが最大の損失額です。一方で、100万円で買った株が上がったとします。10%上がれば+10万円。110万円から10%上がると+11万円、・・・150万円から10%上がると+15万円。同じ率で上がれば上がるほど、利益の額が多くなっていきます。下がった時とは正反対です。そして上がるほうは天井がありません。バフェットは「上がった株の影響度は大きくなり、下がった株の影響度は小さくなる」といっています。このあたりは、損が出ている株を見るときの大事な着眼点です。いい株を持ち続けて上がっていくと、同じ率で上がっても、上がる額は増えていきます。たとえば、株価が40倍になれば、そこから同じ率で上がると、上がる額は最初の40倍になります。100万円買って40倍の4000万円になれば、そこから10%上がれば400万円増える。実に投資元本の4倍の額です。これが、ビルトイン（く組み込まれた）複利効果です。

COLUMN

第2次世界大戦-バカのことをしたもんだ

600ページに迫る半藤一利の昭和史「戦前編」を読んだが、一言で言えば「バカなことをしたもんだ」。そして、危うい日本人の民族性。二度と、この歴史を繰り返さないためにも、我々は、その本質を肝に銘じなければならない。いったん流れができると、大衆はそちらに突っ走る。特に日本人は、その傾向が強い。戦争を煽ったのは、マスコミ。イケイケどんどんで、何をもたもたしているのだというトーン。そして滑稽なのは、敗戦となると、押し黙ってしまうこと。昭和天皇は、いやいやながらも、背中を押されるので、進まざるを得なかったというのは実態だ。戦前と戦後では、天皇の立場は、驚くほど戦前の方が強いのだが、それでも抗しきれなかった。

また、明治維新から、日清戦争、日露戦争に勝ち、負け戦を経験していなかったことも根底にあるだろう。いわば「日本は負けるはずがない」という変な自信過剰だ。井戸の中の蛙で、米国の真の実力を知らなかった。暗号はすべて傍受されていた。要は明治維新以来、外国との付き合い方が表層的だったということだ。そして悪いことに、官僚組織だけはA級戦犯の岸信介をはじめとして、生き残った。

広島、長崎に原爆を落としたのは、日本に戦争を止めさせるためには、仕方なかったというのが、米国の判断だったのだろう。それがなかったら沖縄のように、日本全土が焦土に化した危険があった。神宮外苑での学徒出陣。まさに優秀な日本の頭脳が、神風特攻隊で海に散った。その損失は今でも続いている。われわれは、この事実を胸に刻み、しっかりと世の中に貢献していかなくてはならない。

MARKET

	（10月末）	（9月末比）
日経平均	63,290.11円	−3,463.61円 (−5.19%)
NYダウ	51,770.31pt	+864.26pt (+1.70%)
米ドル	157.70円	+0.20円 (+0.13%)

私の書棚より

楽園はわたしたち一人ひとりの内に秘められているのです。今私のうちにも隠れていて、わたしさえその気になれば、明日にもわたしにとって現実に楽園が訪れ、もはや一生続くんですよ。

カラマーゾフの兄弟 -ドストエフスキー

INFORMATION

なぜ今、顧客の側に立つアドバイザーが必要なのか

●投資成果を左右する“本当の要因”
近年、投資の世界では「どの金融商品を選ぶか」が重視されがちですが、CFA協会ブログに掲載されたレポート *“Why Financial Advisers Matter More Than Investment Products”* は、投資成果を左右する本質が別のところにあることを示しています。投資家の長期的な成功を決めるのは、商品そのものではなく、**投資家がどのように行動し、誰がその行動を支えているか**だという指摘です。私はこの内容を読み、驚くほど自分の実践と重なっていることに深い共感を覚えました。同時に、こうしたレポートが出るという事実は、世界的にも「本当にあるべきアドバイス」がまだ十分に提供されていない裏返しでもあります。

●投資家は市場ではなく自分に負ける
投資家は、情報や商品が増えたにもかかわらず、依然として「高値で買い、安値で売る」という行動を繰り返します。市場が不安定になると、長期計画を忘れ、感情に流されてしまう。行動ファイナンスの研究が示すように、投資家は合理的ではなく、むしろ自らの判断で成果を損ねてしまうことが多いのです。つまり、投資家を敗北させるのは市場ではなく、**市場への反応**なのです。

●　アドバイザーが果たすべき五つの役割
ここで重要になるのが、顧客の側に立つアドバイザーの存在です。レポートでは、アドバイザーが果たすべき役割として、①理解をつくる、②感情を整える、③投資を人生の目的につなげる、④透明性による信頼を築く、⑤適切性を確保する、という五つの能力が挙げられています。これらは単なる商品説明ではなく、投資家の行動をより良い方向へ導くための「人間的な支援」です。市場が荒れたときに、冷静さを保ち、長期の目的を見失わないよう支えることこそが、アドバイザーの価値なのです。

●日本の金融業界に残る“販売中心”の構造的問題
日本では、金融商品仲介業者や証券セールスが「販売手数料」を軸に動く構造が根強く残っています。投資家の行動を改善するよりも、商品を売ることが優先される場面も少なくありません。しかし、人生の資産形成において本当に必要なのは、商品を売る人ではなく、**投資家の行動と意思決定を守る人**です。市場のノイズに振り回されず、目的に沿った投資を続けられるかどうかは、投資家一人では難しい。だからこそ、顧客の側に立ち、長期的な成果を共に目指すアドバイザーの存在が、人生の質を左右するほど重要になります。

●AI時代にこそ問われる、人間のアドバイザーの価値
AIや自動化が進むほど、商品比較や情報収集は機械が担うようになります。しかし、投資家の不安を理解し、判断を支え、長期の目的に立ち返らせる役割は、人間にしか果たせません。これからの時代、アドバイザーの価値は「商品知識」ではなく、**行動を支える力**に移っていくでしょう。

●投資の成功は、商品ではなく“誰と歩むか”で決まる
投資の成功とは、ファンドの成績ではなく、投資家自身が望む人生の成果を達成できたかどうかです。そのために必要なのは、商品ではなく、伴走者です。レポートが示す「アドバイザーの効果」は、これからの日本でもますます重要になると感じています。一方で、真に価値あるアドバイザーを見つけるのは、投資家の力量であり、眼力です。

まかせて安心、資産運用のホームドクター

●大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
●退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
●仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
●銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品を売るのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。

びとうファイナンシャルサービス
代表　尾藤　峰男
公認投資助言者（RIA）

びとうファイナンシャルサービス 公式HP
http://www.bfsc.jp

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！
お申し込みは　http://www.bfsc.jp/mailmagazine/

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役　尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311　**電子メール：info@bfsc.jp**